

祇園小学校 校長だより（第26号）

平成30年11月8日

# 「清心」

文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

## 金銭管理

他校で起きたことですが、小学生がスマホのゲームで高額の課金を行い、保護者が苦勞した事例や、小学生が祖父の財布から高額のお金を盗んだ事例がありました。子どもにお金の大切さを指導するとともに、大人の金銭管理も大切です。

## スマホ等の危険性

スマホや携帯電話は便利でもありますが、危険性もあります。市内でも「メール、LINEで悪口を書かれた」「チェーンメールを送られた」「個人情報や写真を無断で流された」「迷惑メールを送られたりつきまとわれたりした」「ネットで知り合った人と会った（会いそうになった）」「LINEで仲間はずしにされた」など小学生も被害にあっています。

また、ふざけ半分で喫煙や飲酒のふりをしている場面をネットにアップした子もいます。

子どもにスマホや携帯電話、タブレット、インターネットに接続できるゲーム機などを持たせる場合は、保護者が責任を持ってルールやマナーを教えるとともに、子どもの使用状況についての確認をお願いいたします。

祇園歴史の旅（その26）「綾なす歴史のたて糸よこ糸 語りつたえよう中部地区のこと（その2）」

中部地区町内協議会設立25周年記念誌（平成20年発行）、佐世保史談会会員の筒井隆義さんの記念エッセーより抜粋。「私たちは、中部地区の背後地を確認できたところで想像の翼を折りたたみ、元のニミツパークに降り立ちます。そこでこんどはしばし目を閉じ、時代を刻み続ける時計の針を、一気に150年ほど戻して江戸時代末を見えます。

降り立ったところは塩浜です。海から海水を導き入れ、濃くなった塩水を釜に入れて煮詰め、塩をとるための広々とした浜です。佐世保浦に連なる細い瀬戸の対岸は島の地と呼ぶ小高い山が連なっていて、磯辺には漁の小舟が見えます。

水路の先、富田酒造場が目立つ佐世保浦にはかなりの人家が連なり、佐世保川の上流に向けて賑わいを見せています。浦で目につくのは老松に囲まれた大智山教法寺。そこから今福浦、琵琶浦から立神の鼻に向かっては、平戸藩に納める貢納米の倉庫が軒を並べています。

視点を戻し、再び島の地山の北を見渡しましょう。北から浜田、古神田、櫛（はぜ）山、どどろ川内、宮崎、京ノ坪と東に移って行き、小佐世保川が入海に注いでいます。戸ノ尾の台地の向うから馬の氏川も同じ入海に注ぎ、そこから東は隣り村の日宇村です。」（続く）

江戸時代末には広々とした塩浜や酒造場、貢納米倉庫などがあったのですね・・・。